

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

□巻頭言・2022年度定時社員総会 … P1・P2 □自動車リサイクル士講習会 申込み期限迫る! … P2

□第2弾 業界イメージアップのヒントを探る!! … P3・P4

□2022年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 5月出荷状況と今期累計 / 5月新車販売・使用済自動車発生台数 … P5

□鉄スクラップ最新情報 … P6 □行事予定・お知らせ / 編集後記 … P7

vol. **160**

2022年度定時社員総会

01

2022年度の定時社員総会が6月20日(月)鉄鋼会館(東京都中央区)で開催されました。ここ2年の間は新型コロナウイルスにより対面での開催には至りませんでした。万全なコロナ対策を講じ、最低限の出席者数に制限したうえで、対面形式(WEB併用)での開催となりました。

なお、対面での開催は実に3年振りとなります。



【総会の様子】

【第1部 定時社員総会】

社員の過半数の出席により本社員総会は成立し、第1号議案「第17期事業報告・収支報告」、第2号議案「第18期事業報告案・収支報告案」、第3号議案「理事選任」、全ての議案が承認多数で可決されました。



【任期満了によりご退任となった山口北海道ブロック長(左)、小林関東ブロック長(右)】

【第2部 懇親会】

こちらでも万全なコロナ対策及び最低限の出席者のもと着座形式での開催となりました。久しぶりに顔を会わせられた方、WEB会議等で面識はありましたが、今回初めて顔を合わせる方など、コロナ前の懇親会とはまた違った味わいの懇親会となりました。

巻頭言

記念日とは過去に歴史的な出来事があった日であるとか、一般的ではありますが、最近では企業や団体に限らず語呂合わせによるものも増えたような気がします。また、民間ばかりではなく地方自治体等もその地域や特産品をPRするために制定しています。

ちなみに、来月8月14日は「廃車リサイクルの日」です。これは福島県のナプロアース社が「は」「い」「しゃ」の語呂合わせを日本記念日協会に申請、登録されたものです。

このように見ていると、我々日本自動車リサイクル機構においてもなんらかの記念日を制定し、もっと広く自動車ユーザーに当機構の活動ならびに自動車のリサイクルをアピールできれば良いのではないかと思います。

〈広報部会 田村 幸男〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3丁目2番2号
TEL: 03-3519-5181
FAX: 03-3597-5171
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp
H P: http://www.elv.or.jp/

【懇親会の様子】



2022年度 理事・監事体制

氏名	役職	氏名	役職
【理事・常任役員】		赤松 健一	近畿ブロック長
酒井 康雄	代表理事	中村 昌徳	中国・四国ブロック長
永田 則男	副代表理事	森田 光弘	九州ブロック長
石井 浩道	副代表理事	松田 和生	沖縄ブロック長
木内 雅之	副代表理事	【理事・部会長】	
埜村 岳史	副代表理事	吉岡 篤史	未来部会長（新任）
平地 健	ブロック長会議長・東北ブロック長	田村 幸男	広報部会長（新任）
【理事・ブロック長】		佐々木 健二	リサイクル技術部会長（新任）
菅野 康博	北海道ブロック長（新任）	【監事】	
有原 良	関東ブロック長（新任）	石上 剛	監 事
光山 広志	中部北陸ブロック長	大橋 岳彦	監 事

※事業所所在地“北→南”順で掲載

自動車リサイクル士の申込期限迫る！

02

2022年度自動車リサイクル士の講習会の申込み期限が迫っております。新たに資格を取得いただける新規講習会については、修了試験会場毎に定員数を設けておりますので、受講をご検討されている方はお早めにお申込みください！

また、更新期限を迎えられる方には更新講習会のご案内を郵送しておりますが、自身が更新対象者かご不明な場合がございます。お気軽に機構事務局までお問い合わせください。



【申込期限】

■新規講習会

2022年7月20日(水) ※消印有効

■更新講習会

2022年7月4日(月) ※消印有効

新規講習会ご案内動画(まずはこちらをチェック!) ▶

【お申込み・詳細はこちらから】

▶ <https://www.elv.or.jp/35-87-0.html>

2022年度 新規講習会のご案内

「業界のイメージアップ」をテーマにお届けしている新年度企画第2弾として今回は株式会社永田プロダクツ(山形県酒田市)で取組んでいる“会社見学会”について見学担当の石黒さんにインタビューをしました。

Q1.なぜ会社見学会を行っているのですか？



【石黒さん】

会社見学会を実施するにあたって私達は「自動車リサイクルについて知っていただきたい」という思いがあります。

SDG'sが社会に浸透してきている中で、一般の方々への私達の自動車リサイクルに関する認知度や理解はまだまだできていないように思います。なぜ自動車をリサイクルしなければならないのか、その必要性や手順等々を「楽しく理解して貰いたい」と思い、多くの見学者を受け入れています。

その甲斐あって、弊社の会社見学会に訪れる見学者は年々増えて、昨年度はコロナ災禍にも関わらず年間500名を超えるお客様を迎えることが出来ました。



【見学会の様子】



【工場見学の様子】

Q2.どんな見学者が会社見学会に訪れるのですか？

大変有難いことに学校や自治体の方をはじめ、企業、地域団体、行政関係など、様々な方々が見学会に訪れて下さいます。学校関係では県内の小、中、高校から大学生まで、修学旅行の行程に入れて貰えた学校もありました。これは社内的にも大変励みになります。また企業では金融機関、保険会社といった弊社とお取引のある企業も多く、信頼感を深める上でも一役かっているのではないかと思います。また、このように認知度が上がることで採用面でも大きな効果がありました。



【子どもたちからは質問がたくさん】

Q3.社内的にはどんな効果がありましたか？

会社見学会が入ると業務が止まる、社員も対応に追われるなどのデメリットを考えがちですが、むしろ弊社ではそれが良い効果を生み出しているように思います。例えば、たくさんの方々より自分達の仕事を見てもらうことで、私たちスタッフのモチベーションアップにも繋がっています。また社内的に連携を取らなければならないため、必然的に部門間の協力体制が生まれます。このことによって社内でのコミュニケーションがとて良くなったと思います。

また、お客様を迎えるにあたり社屋を綺麗に掃除することで職場環境のクリーンネスにも繋がっています。



【作業に目が釘付け】

Q4.会社見学の内容や特徴を教えてください。

まずは業務一連の流れをDVDで紹介します。このDVDは社員達が作成したものです。これで大まかな業務の流れを掴んで貰います。それを終わると、実際に作業現場に行ってみ学をします。

「燃料回収工程」からはじまって、「エアバッグ類処理工程」ではエアバッグの展開の実演、フロンガスのガス抜きと前処理から見学します。次にリサイクル部品の取り外しと品質管理工程を見て頂きます。そこで会場に戻って貰って、次にニブラによる自動車解体の実演をライブで見て貰います。ニブラ作業は見学者には最も興味深いものですが、危険性が高く、実見学は難しいのが現実です。そこでHVカメラでライブ中継を行い、ホールの200インチ・プロジェクターで実演を見て貰おうと考えました。解体の様子を実況しながら大迫力の自動車解体ショーを室内で安全に観られます。弊社見学プランの目玉です。

また、弊社ではお客様からご依頼をいただいた後、見学の目的や時間、年齢層その他要望に沿った見学プランをその都度考えて対応しています。

例えば、「部品の再利用について知りたい」という方には部品倉庫で実際に部品を見ていただいたり、「働く社員の様子が見たい」という学生様には工場見学のほか事務所棟の見学と若手社員からの話を聞く時間を設けたりと、お客様に飲んで頂くために様々な見学プランを考案しています。



【工程毎にふりがな入の看板を設置】

ニブラによる自動車解体の実演をライブで見て貰います。ニブラ作業は見学者には最も興味深いものですが、危険性が高く、実見学は難しいのが現実です。そこでHVカメラでライブ中継を行い、ホールの200インチ・プロジェクターで実演を見て貰おうと考えました。解体の様子を実況しながら大迫力の自動車解体ショーを室内で安全に観られます。弊社見学プランの目玉です。



【ホール・自動車解体ショー】

Q5.見学担当者として意識していること・やりがいは何ですか？

見学者は小学生からご年配の方まで年齢も幅広く、どうしたら興味をもってもらえるかを大切に考えています。

例えば、学生にはクイズを盛り込んで飽きさせないようにしたり、大人に対しては少し専門的な話を間に挟んだりとさまざまな工夫をしています。そしてすべての見学に共通して気を付けていることが「自分自身が楽しむこと」です。落ち着いて、にこやかに、どんな質問が来ても、どんなハプニングが起こっても余裕をもって堂々とすることを意識しています。準備・対応・終了後の後始末その他諸々、大変なことはたくさんありますが、お客様からの「楽しかった！また会いに来たい！ありがとう」の言葉をかけてもらえる瞬間が嬉しく、「もっと今よりも楽しい見学会を作りたい…！」と思わせてくれます。

私は入社5年目を迎え、会社見学の担当としても5年目に突入しました。一番初めにご案内を担当した際、とある女性の方から「とっても上手だったよ。これからも頑張るってね」とお言葉を頂戴しました。この一言が現在まで自分を勇気づけてくれていると感じます。これからも分かりやすく楽しい会社見学で自動車リサイクル業界のイメージアップに少しでも貢献できればと思っております。



【見学会へのお礼の手紙】



2022年度駆動用HVバッテリー共同出荷事業 5月出荷状況と今期累計

04

上段 5月出荷数 下段：今期累計【単位：個】

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα41	レクサス CT200H	アクア /ヴィッツ	カローラアクシオ /フィールダー	クラウン HV GWS204	クラウン HV AWS210
32	16	97	1	0	72	0	7	3
53	28	167	3	0	119	1	7	4

SAI/レクサス HS250H	日産デュロ /ブルーリボン	ノア/ヴォクシー /エスファイア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A	不良品 B	不良品 C	合計
5	0	1	0	1	0	14	0	217
6	0	1	1	1	0	17	2	357

□2021年度の結果はこちらのURLをご参照ください。

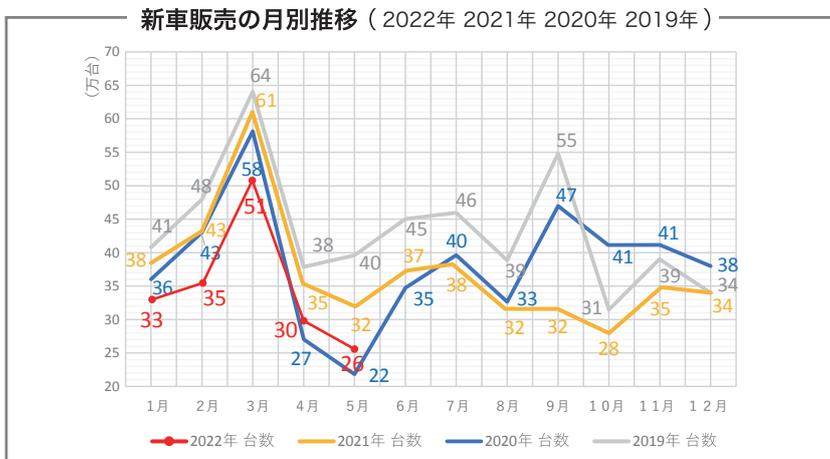
▶ <https://elv.or.jp/index.php?itemid=1810>

5月新車販売・使用済自動車発生台数

～ 5月の使用済自動車発生台数 前年同月比15%減 ～

05

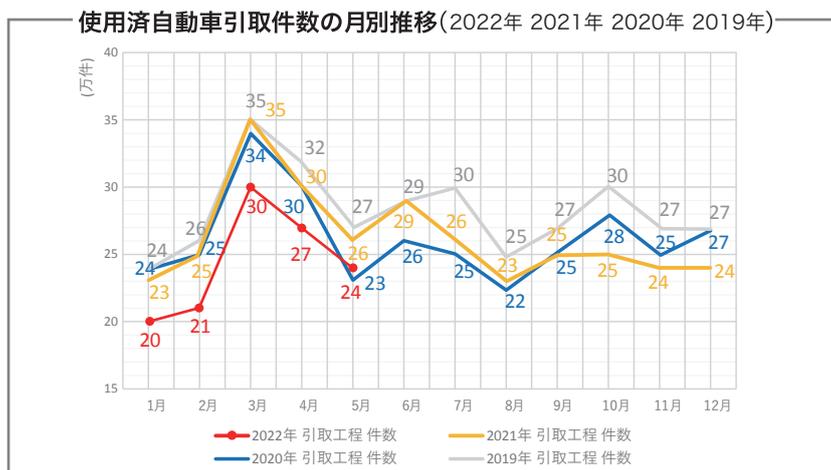
■2022年5月度 新車販売台数 261,433台 (前年同月比81.9%)



年累計	台数	前年比(%)
2022年 (5月まで)	1,758,282	83.8
2021年	4,448,340	96.7
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5
2018年	5,272,067	100.7

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■2022年5月度 使用済自動車引取(電子マニフェスト)実施状況



引取件数
236,475件 (前年同月比 91.2%)
フロン回収工程
212,000件 (前年同月比 90.8%)
解体工程
247,570件 (前年同月比 91.1%)

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

6月第4週（23日）の鉄スクラップ動向



6月23日の国内スクラップ炉前実勢価格 (中心値)

		H2	気配
関東	北関東	52,000～53,000	値下がり
	南関東	52,000～53,000	値下がり
	浜値	50,000～51,500	値下がり
名古屋		53,500～55,000	値下がり
関西	大阪	55,000～56,500	値下がり
	姫路	54,500～55,000	値下がり

国内市場 需要家筋が追加値下げし続落 値下がり幅500～1,000円

国内市場の鉄スクラップ相場が6月22日から1トあたり500～1,000円どころ続落した。海外相場が大幅に続落する中、国内相場は緩やかな値下がりにとどまっておられ、引き続き国内相場に割高感がある。このため新規輸出商談が進まず、湾岸商社・シッパー筋が集荷に消極的なため、国内市場に荷余り感が生じているのが現状だ。この影響が最も強い関東市場とその周辺市場は6月に入っても速いペースで値下がりが続いたが、22日からは全国に値下げ対応が広がった。全国一斉の値下がり、6月に入り10日以来2度目だ。

5月上旬から国内で下げ相場が続く中、市中問屋筋は1カ月以上にわたって積極的な出荷を進めている。地域差はあるものの、全体として市中スクラップの発生に勢いはないが、輸出安の影響で湾岸筋の引き合いが弱いため、鉄スクラップが国内に還流し、各地区で荷余り感がある。先安観が拭えず、市中問屋筋の出荷対応が続くため、夏季減産期に向け、引き続き軟調な相場展開が予想される状況だ。

【東日本地区】 需要家筋が連日の値下げ改定

関東市場の需要家各社は鉄スクラップ購入価格を6月22日、23日の連日、値下げ改定した。先行安の筋に23日からの値下げを見送る動きも見られるが、主要16事業所中10事業所が値下げを実施。湾岸商社・シッパー筋も浜値を引き下げており、関東相場は1,000円どころ続落する展開となった。H2炉前実勢価格は52,000～53,000円中心。H2浜値は50,000～51,000円中心、高値51,500円見当で、中心値以下の安値も散見される。

【東海地区】 特殊鋼の減産で需給は品種によりバラつきも

名古屋地区の鉄スクラップ市況は弱含みにある。自動車関連では、半導体不足や部品調達難の影響が依然として残ることから工場の稼働率が低下しており、製品需要も後退している。特殊鋼筋は夏場を前に高い生産を予定していたが、今月は計画比で2万ト近い減産を強いられる公算だ。その為、使用比率の高い新断は他品種を上回る幅での値下げを実施して購入量の抑制に動いている。H2炉前実勢価格は53,500～55,000円中心。

【西日本地区】 弱気観測を拭えないまま月末へ

西日本の鉄スクラップ市況は一段安の展開となった。海外の値下がりにブレーキがかからず、輸出対比での割高感もあり、弱気観測を拭えないまま月末へ向かいそうだ。輸出向けの船送り減退が陸上含め、海上についても域内還流が加速したままにあり、電炉入荷は多くの筋が安定、もしくは高い水準で取り込めている。H2炉前実勢価格は、大阪地区が55,000～56,000円中心、一部高値56,500円見当。姫路地区が54,500～55,000円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、6月23日午後時点のもの)

行事予定

— 7月の主な行事予定 —

■7月2日(土)

・九州ブロック会議(対面・WEB)

■7月5日(火)

・第4回 広報部会(対面)

■7月7日(木)

・近畿ブロック会議(対面)

■7月12日(火)

・東北ブロック会議(対面)

■7月21日(木)

・J-FAR(樹脂リサイクル社会
実装事業)定例会

※急遽、日程の変更・延期の場合がございます。

July

お知らせ

2022年度「貴金属類の共同出荷事業」のご案内

今年度の貴金属類の共同出荷事業の実施が決定しました。

対象部品は昨年同様、(1) コンピューター基板 (2) エアバッグカプラー (3) センサー類 (O2 センサー、A/F センサー) の3品目となります。会員の皆様はぜひ参加をご検討ください！

■お申込みや詳細はこちらから ▶ https://www.elv.or.jp/media/5/20220603-2022_kyoudou_guide.pdf

【O2センサー】



【エアバッグカプラー】



※本事業への参加は JAERA 機構会員限定です。

編集後記

当機構の定時社員総会が三年ぶりに対面で行われました。リモート参加も含め、ようやく多くの会員皆さんにお目に掛かることができたことは、感慨無量といえるものでした。コロナ禍以降、リモート会議も広く社会に普及してきていますが、やはり人が集うことによる臨場感、場の雰囲気だけは如何ともし難いものがあります。確かにいとも簡単に全国各地と繋がることのできるリモート会議のメリットは計り知れないものがありますが、しかしコミュニケーションといった人間関係を深めるには限界を感じます。極端にならず、リモート会議と対面による会議を上手に棲み分けしながら行うことが大事なポイントではないでしょうか。

さて、この度、今号を持って私は広報部会部会長を退任する運びとなりました。皆さまには長きに渡って大変お世話になりました。謹んで御礼を申し上げます。

後任にはこれまで副部会長として私を支えて田村幸男氏が引き継ぎます。田村部会長の明快な采配により、一層密度の濃い紙面になること必定です。引き続き応援宜しくお願い申し上げます。

(広報部会長 永田 則男)